



沖縄県退職教職員会
 会長 仲村勝彦
 〒900-0015
 那覇市久茂地3-9-23
 教育会館内
 ☎ (098) 867-0161 (代)
 FAX 098-863-2026

残念 宜野湾市長選挙

県議選・参院選で雪辱を

新年明けましておめでとう
 ございます。今年が会員の皆
 さんをはじめご家族の皆さん
 にとっても素晴らしい年にな
 りますようにお祈りいたしま
 す。年が明けてから約1カ月
 半が過ぎました。本会として
 も1月24日投票の宜野湾
 市長選挙に全力投球をしてい
 たため本号の発行が遅れたこ
 とをお詫び申し上げます。

それにしても宜野湾市長選
 挙の結果は大変残念でなりま
 せん。翁長知事を支え辺野古
 新基地建設反対の公約を掲げ、
 オール沖縄の立場で立候補し

たシムラ恵一郎さんを新市長
 として誕生させることができ
 ませんでした。
 市長選挙で敗れたとはいえ
 沈んでばかりではいられませ
 ん。6月には県議会議員選挙
 が、7月には参議院議員選挙
 が行われます。県議会議員選
 挙では翁長知事を支える与党
 議員の過半数獲得を目指して、
 参議員選挙では沖縄県民を裏
 切り続けている現職の島尻議
 員に対し何としても雪辱の勝
 利を勝ち取りましょう。同時
 に辺野古での座り込み行動を
 更に強化していきましよう

日退教としても随時座り込
 み行動に参加をしながら、新
 年度も第7次沖縄連帯行動を
 取り組むことにしています。

年頭の挨拶

（この欄は年頭の挨拶の文が掲載されています）

大阪府退教「憲法9条を誇り
 にする会」も座り込み行動へ
 の参加と共に、6月には「沖
 縄連帯学習ツアー」を計画し
 70〜80人の参加を予定して
 います。

今年も本会の活動は辺野古
 新基地建設阻止の取り組みが
 中心となりますが同時に介護
 問題や年金問題等の講演学習
 会等も取り入れていきたいと
 思います。各支部と本部が一
 致団結して諸課題の解決に邁
 進していきましよう。

女性部 新春の集い

日時：2月29日（月）
 受付：11:30～
 開始：12:00～
 場所：教育福祉会館3F
 電話：098-885-9621
 会費：1500円

宜野湾市長選本会の取組 退職者会の中心に 独自の行動も

宜野湾市長選挙は思わぬ大差で敗れてしまいました。候補者擁立の遅れや相手陣営の辺野古争点ばかり、安倍政権による全庁あげての選挙への露骨な介入、相手候補が4年間にわたり市長の座を利用して草の根的に固めてきた強固な組織を打ち崩すことができなかつたこと等が大きな敗因と考えられます。

今選挙で本会からは平安事務局長と野国中退教幹事がシムラ選対の退職者会担当とし

て関わりました。沖退教、高退教、市職労OB、自治労OB、全駐労OB、国公労OB、JP労組OB、全司法OB、県庁OB会の9組織で4回の連絡会と2回の決起集会を開催しました。各組織とも宜野湾市内在住者の80%以上の集票を目標とし取り組むことと同時に各自の地域での集票行動やビラ配布等にも積極的に参加していくことを確認しました。選対から退職者連絡会に対して900票の集票目標が課されましたが、2461票をあげることができました。

退職者連絡会としての取り組みのほかに、本会として毎週火・木の2回午後4時から6時までの時間帯で行動することを確認し、11月26日以降毎週各支部から宜野湾市に結集し、集票やビラ配布、ビラ折り作業等をし、女性部

は連日電話行動を頑張りました。

出口調査

新基地反対
賛成
**3356
% %**

これまでの3つの選挙結果を比較してみますと、シムラさんが獲得した票はこれまでの票をほぼ維持しています。投票率は上がったが票の上積みができなかつたのは大きな痛手でした。出口調査では「辺野古新基地建設に反対」が約56%、「賛成」が約33%で、現市長の再選とは関係なく、

宜野湾市民の過半数が辺野古新基地建設に反対を表明しています。県議選、参議院選で雪辱を果たし辺野古新基地阻止に結び付けていきたいと思います。

2016年 宜野湾市長選挙

志村 恵一郎	21,811
佐喜真 淳	27,668
投票率	68.72%

2014年 衆議院選挙

宜野湾市区

テルヤ 寛徳	20,919
ミヤザキ政久	14,734
投票率	50.31%

2014年 県知事選挙

宜野湾市区

オナガ 雄志	21,995
なかいま弘多	19,066
下地 ミキオ	3,959
喜納 昌吉	464
投票率	64.03%

辺野古新基地反対の闘い

強化日を週二日に拡大

裁判闘争支援も



工事車両を止めようと座り込む参加者

キャンペーンシュワブゲート前での座り込み行動は開始から約600日になり、本会会員の参加者も延べ数千人を数えます。日米両政府は新基地建

設反対の県民の声を全く無視し、機動隊導入によって県民を強制排除して工事を強行しようとしています。しかし、県民はひるむことなく、ゲ



日退教・大阪府退教揃っての参加

ト前にブロックを積み上げて工事車両を止める新たな戦術を編み出す等創意工夫をした闘いを繰り広げています。毎週水曜日に行っていた議員団を含む数百人規模の行動も週2回に拡大し、週3回も視野に入れていきます。

座り込み行動には毎日のように県外や外国からの参加者も見られますが、私達の上部組織である日退教や大阪府退教をはじめ各県レベルからの参加があります。日退教は新



裁判支援で駆けつけた県民

年度も7年連続となる沖縄連帯行動を計画しています。新年度は4月と10月の2回の連帯行動を組むことにしています。第1回目は4月10日から11日までとし辺野古での座り込み行動に参加します。大阪府退教も6月に6回目となる「沖縄連帯学習ツアー」を2泊3日の日程で計画しています。

裁判も同時進行中

キャンペーンシュワブゲート前での座り込み行動と並行して国、県がお互いに訴え合う裁判も行われています。現在三つの裁判が進められています。が、これらの裁判も辺野古新基地建設を止めるためには大変重要な裁判となります。新基地反対の民意が反映される裁判結果になるように、裁判闘争も皆で頑張っていきたいと思います。

